

福島区地域包括支援センターだより

福島区地域包括支援センターは
住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるように
支援を行う相談窓口です。

何度も同じ話を
繰り返すため、
会話が噛み合わない

自宅まで
どのようにして
帰るんだっけ？

お財布、鍵どこに
置いたっけ？

このような症状で
お困りではありませんか？



気になる症状がある方は裏面のチェックシートを参考にしてください。

認知症に関する相談窓口 ～あいあいオレンジチーム～ 「もしかして認知症かな」と思ったらまずはご相談ください。

医師と医療・福祉・介護の認知症専門チームが、一人ひとりに合った医療・介護の
支援など、あなたとご家族をサポートします。
若年性認知症の方への支援も、一緒に考えます。

◆相談時間 月～土曜日 9時～17時30分(祝日・年末年始除く)
福島区海老江6-2-22(あいあいセンター内) ☎6454-6334

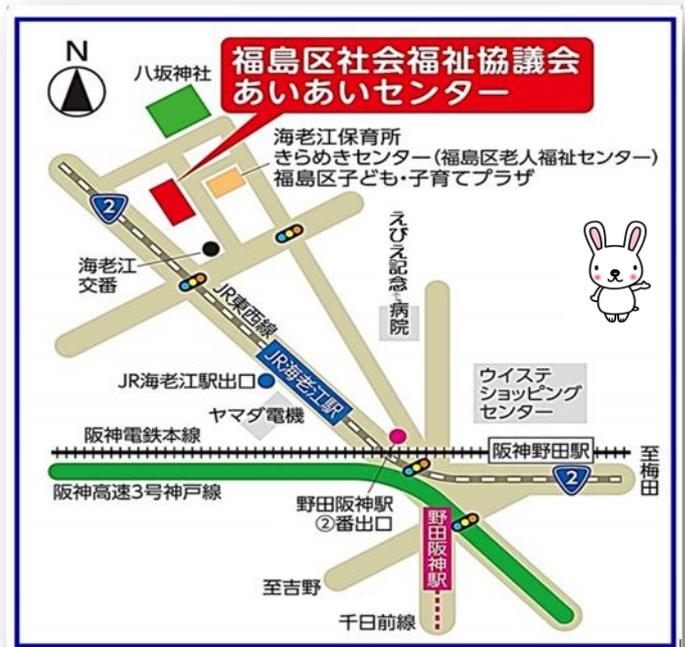


福島区地域包括支援センター

住所：福島区海老江6-2-22
電話番号：6454-6330
月～金曜日：9時～19時
土曜日：9時～17時30分
お電話、来所、お気軽にご相談下さい。

合言葉は
「あれっ?と思ったら包括へ」

高齢者の相談窓口です





ひょっとして認知症かな？ 気になったらチェックしてみよう

認知症は単なる物忘れとは違います。認知症にも早期治療で症状を和らげることができるものがあります。きちんと診断して、適切な対応をすることが非常に大切です。

「あれ、おかしいな？」と思ったらご本人やご家族でチェックし、認知症の早期発見のきっかけとしてご活用ください。

もの忘れがひどい

- 1 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2 同じことを何度も言う・問う・する
- 3 しまい忘れ、置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

判断・理解力が衰える

- 5 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6 新しいことが覚えられない
- 7 話しのつじつまが合わない
- 8 テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所がわからない

- 9 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10 慣れた道でも迷うことがある

人柄が変わる

- 11 些細なことで怒りっぽくなった
- 12 周りへの気づかいがなくなり、頑固になった
- 13 自分の失敗を人のせいにする
- 14 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- 15 ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 16 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- 18 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20 ふさぎ込んで何をすることも億劫がり、いやがる

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。いくつか思い当たることがあれば、専門家に相談してみるのがいいでしょう。

出典/公益社団法人 認知症の人と家族の会

出張相談会を実施しています

場所	日程	時間
大阪厚生信用金庫大淀支店内 住所：鷺洲2-12-10	年金支給日	午前9時30分 ～11時30分
イオン野田阪神店2階イオン薬局前 ※共催イオン薬局 住所：海老江1-1-23	毎月15日	午後2時～4時
福島区役所1階ロビー ※共催 地域自立支援協議会 住所：大開1-8-1	毎月第4金曜日	午前10時30分 ～午後1時

気になること、心配な事を相談してみませんか？

